

NOE NEWS LETTER

Division of Next generation Open Education promotion

2025/12

ドイツ兵俘虜の足跡をめぐる電子副教材の開発

NOE部門では、人文科学研究院の今井宏昌准教授とともに、九州に残るドイツ兵俘虜（捕虜）の足跡を3次元CGでデータ化する取り組みを進めています。第一次世界大戦の際、日本とドイツは青島をめぐる戦いをしました。その結果、約4,500名のドイツ兵が日本に俘虜として送られ、滞在中に地域にさまざまな影響を与えました。しかし、100年以上が過ぎた現在、その遺構はごくわずかしか残っていません。

学生が各地に点在するこれらの遺構を直接訪れることは容易ではありません。さらに、遺構は時間の経過とともに風化が進んでいます。そこで、これらを3Dモデル化し、あらゆる角度から詳細に観察できる環境を整えることで、学習効果の向上と理解の深化を目指しています。



佐賀・妙専寺



福岡・谷公園



福岡・今津



大分・桜ヶ丘聖地



福岡・久留米

この取り組みは、学生のみならず、ドイツ国内に住む遺族が日本での俘虜の活動を振り返る際にも、貴重な資料となると考えています。テキストや写真だけでは伝わりにくい情報を、Webブラウザ上で閲覧しながら学習できるようにすることが可能です。

今後は、当部門のメタバース（MetaveQ）内で、これらを活用した学習教材の開発を進めるとともに、独語版の提供についても検討しています。

九大発のメタバース空間、MetaveQの運用準備を進めています

NOE部門では、これまでNTTの「DOOR」を活用し、メタバース空間の制作・提供を行ってきました。しかし、2025年3月31日をもってDOORのサービスが終了したことに伴い、当部門では現在、「Hubs」をベースにした独自のメタバース空間MetaveQの提供に向けて準備を進めています。

MetaveQでは、従来と同様に、生徒と講師が同じ仮想空間でパネルを見ながら意見交換し、交流できる学習環境を実現します。

さらに、学習意欲を高めるため、Hubsにはないイベント要素を取り入れた体験を提供できるよう、機能拡充を計画しています。



*画面は開発中のものです、内容は変更となる可能性があります。

全学FD/2025 講習会開催報告

■ 電子教材著作権講習会

12月19日10:30-11:30にオンライン(MicrosoftTeams)において、当NOE部門・部門長が講師となり、全学FD「電子教材著作権講習会」を開催しました。

本講習会の目的は「電子教材開発における他人の著作物の利用に関するガイドライン等を周知することにより、ICT活用教育の普及啓発を図る」ために実施しております。質疑応答の時間では、質問に対して部門長が直接回答しました。

学内から31名の参加申し込みがあり、当日は12名のご参加がありました。

■ XR教材開発者向け講習会

12月19日13:30-15:00にオンライン(MicrosoftTeams)において、当NOE部門・部門長が講師となり、全学FD「XR教材開発者向け講習会」を開催しました。

本講習会の目的は「ICT活用対話型電子教材や教材開発ツール等を広く周知する」ために実施しております。

主な内容は、本部門で開発したXR系教材(VR/AR/MR)の紹介と教材開発のためのツールについてです。

学内から18名の参加申し込みがあり、当日は13名のご参加がありました。

■ ビデオ機材利用者向け講習会

12月19日15:30-17:00にオンライン(MicrosoftTeams)において、当NOE部門・部門長が講師となり、全学FD「ビデオ機材利用者向け講習会」を開催しました。

本部門事業の一つとして、学内の教職員向けにビデオ機材等の貸し出しを行っております。本講習会は「特にご利用場面の多いビデオ機材の利用法を広く周知する」ために実施しております。

学内から18名の参加申し込みがあり、当日は12名のご参加がありました。

提供開始 PartPacker

PartPackerは、NVIDIAが開発したAIベースの3Dモデル生成システムです。従来、3D制作には多くの困難が伴いますが、PartPackerを使用すれば、1枚の画像からAIが対象を解析し、複数のパーツで構成された3Dモデルを生成できます。パーツを分割して制作することで、3Dプリントやアニメーション制作が容易になります。生成されたデータはGLB形式でダウンロード可能です。さらに、3Dツールを利用すれば編集や加工も行えます。以下のURLから、ご利用が可能になります。



PartPacker <https://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/partpacker/>

機材紹介 ポータブル360°VRカメラ

今回は、ニュースレターNo.2でも紹介したポータブル360°VRカメラを改めてご紹介します。このモデルは従来の製品よりタッチスクリーンが大きく、高解像度で撮影できるようになっています。使い方は従来同様、とても簡単です。

NOE部門では、今後も定期的にこれらの機材を活用したワークショップを開催いたします。ぜひご参加ください。

1 電源ボタンを押してスタート

インジケータランプが青くなります
* 電源ボタンの長押しで、電源オフ

2 タッチスクリーンで録画モードをチェック

録画モードは8K/30を推奨
* タッチスクリーンをタップで再表示できます

3 シャッターボタンを押せば録画開始

インジケータランプが赤く点滅します
* もう一度押せば録画を停止します



さらに詳しい使い方はこちら ▶ [insta360 X4 ユーザーマニュアル](#)

https://res.insta360.com/static/6045441dde5662c1de6bc54986afa5e7/X4_UserManual_JP.pdf

<https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/>

noe_tech@icer.kyushu-u.ac.jp

バックナンバーを公開しています

<https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/pr/>



九州大学 データ駆動イノベーション推進本部

Division of Next generation Open Education promotion
次世代型オープンエデュケーション推進部門